

“日清食品カップ” 北海道小学生陸上競技交流大会
第 39 回北海道小学生陸上競技大会

- 1 主 催 一般財団法人北海道陸上競技協会 北海道新聞社 道新スポーツ
- 2 主 管 道南陸上競技協会
- 3 後 援 公益財団法人日本陸上競技連盟 公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団
北海道教育委員会 函館市 函館市教育委員会 特別非営利活動法人函館市スポーツ協会
北海道小学校長会 公益財団法人日本スポーツ協会スポーツ少年団
- 4 協 賛 日清食品ホールディングス株式会社
- 5 期 日 令和 3 年 8 月 15 日 (日) 9:00 競技開始
- 6 場 所 函館市千代台公園陸上競技場 函館市千代台町 2 2 番 2 4 号 0138-55-1900
- 7 種 目

学年・性別	種 目
5 年男子	100m 1500m 80mH 4×100mR 走幅跳 走高跳 ジャベリックボール投
6 年男子	100m 1500m 80mH 4×100mR 走幅跳 走高跳 ジャベリックボール投 砲丸投 コンバインド A コンバインド B
5 年女子	100m 800m 80mH 4×100mR 走幅跳 走高跳 ジャベリックボール投
6 年女子	100m 800m 80mH 4×100mR 走幅跳 走高跳 ジャベリックボール投 砲丸投 コンバインド A コンバインド B
6 年混合	4×100mR

- 8 競技規則 2021年度日本陸上競技連盟競技規則に準ずるが、児童(小学生)である年齢を考慮した教育的配慮の元に競技を進行する。
- 9 競技方法(1)スパイクの使用は自由とする。使用の場合ピンはオールウェザー対応9mm以下の長さとする。
(2)トラック競技のスタートは、イングリッシュコーンとし、同じ競技者が2回の不正スタートをした時、その競技者を失格とする。
(3)100m・80mH・4×100mRはクラウチングスタートとする。
(4)予選を行う種目は、100m・80mH・男女400mR・混合リレーとする。
100m決勝は予選1位から8位までA決勝、予選9位から16位までをB決勝とする
入賞はA決勝とする。
(5)800mで1組の人数が12名を超えた場合、グループスタートとする。
(6)リレーにおけるマークは主催者が準備したものを使用すること。また、使用後のテープは必ずそのチームの選手が外すこと。
(7)80mハードルは、ハードルの高さ70cm、ハードル間7m、ハードルの台数9台、スタートから第1ハードルまで13m、最終ハードルからフィニッシュまで11mとする。
(8)走高跳(はさみ跳)は、マットへの着地は足裏からとし、背・腹などからの着地は無効試技とする。
(9)コンバインド A は 80mH と 走高跳、コンバインド B は 走幅跳 と ジャベリックボール投 と し、コンバインド 競技と個人種目の 80mH・走高跳・走幅跳・ジャベリックボール投については、別の種目とする。
(10)フィールド競技の試技はすべて3回とする。但し、コンバインド種目については全国大会要項に準

じ、試技を2回とする。

(11)ジャベリックボール投は、主催者が用意した器具を使用する。やり投に準じて行うが、助走距離は15m以内とし、距離の計測は器具が最初に地面についた地点から計測する。羽をもつての投てき、回転投を禁止する。

(12)砲丸投は男女とも2.721kg（中学女子の規格）とし、回転投げを禁止する。

1.0 参加資格(1)各地方陸協が所管する地域の小学校・クラブチーム・少年団等に所属する5・6年生の児童。

複数地域からの参加は認めない。

(2)上記競技種目の男女別学年区分に限る。ただしリレー競技は下の学年が上の学年に入ることができる。

(3)各地方陸協で開催した「北海道小学生陸上記録会」において、全種目2位まで（主管陸協3位）に入賞した選手、または、2021年度の競技会において下記の参加標準記録を突破した選手。

※コバイント種目についてはそれぞれの2種目において全道大会参加標準記録を突破した選手にも別途参加資格を与える

(4)参加標準記録

種目	5年男子	6年男子	5年女子	6年女子
100m	14"50	13"70	14"80	14"00
800m/1500m	5'20"00	5'10"00	2'50"00	2'41"00
80mH	15.70	14.50	16.20	15.50
4×100m R	1.01.00	56.50	1.02.50	58.50
混合4×100m R		57"50		57"50
走高跳	1m15	1m25	1m10	1m23
走幅跳	4m00	4m50	3m80	4m10
砲丸投		8m50		6m50
ジャベリックボール投	46m00	56m00	35m00	44m00

1.1 参加制限(1)1人個人種目1種目+リレー1種目までとする。

(2)リレーは各区分で所属1チームまでとし、1チーム5名まで登録できる。6年男女混合リレーは男女各2名で走り、走順に規定はない。補欠は男女各1名以内、合計6名以内の編成とする。但し、複数のチームにまたがって登録することはできない。

①チームは学校・クラブチーム・少年団単位とする。

②6年男女混合リレーの優勝チームが全国大会代表チームとなることに留意して登録すること。

(16 全国大会の項を参照)

1.2 申込方法※個人情報について、大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

(1)各所属団体・学校・個人

①(一財)北海道陸協ホームページ (<http://hokkaido-rikkyo.jp/>) から全道小学専用参加申込書(様式1)をダウンロード。

②必要事項を全道小学専用参加申込書(様式1)に入力し E-mail(mosikomi@ncv.jp)へ送付
この申込書は、陸協別人数を把握のため所属陸上競技協会にも忘れずに送信すること。

③参加料は 北海道銀行函館支店 店番 206 口座番号 1505289

加入者名 道南陸上競技協会 会長 岡部 壽一 宛に振り込む。

大会名、チーム名を記入する事。

ドワンリクジョウキョウギキョウカイ カイチョウ オカベジュイチ

(2)各地方陸協担当者

- ①(一財)北海道陸協ホームページから、参加人数・参加料一覧(様式2)、派遣審判員氏名報告書(様式3)をダウンロード。
- ②必要事項を入力し、(様式2)、(様式3)、決勝記録一覧表を下記へ送信する。
- ③データ送信先 E-mail (mosikomi@ncv.jp)
- (3)参加料 1種目1, 300円 リレー2, 500円
- (4)締切日 令和3年7月26日(月)期日厳守 (様式1~3)及び参加料
- (5)問い合わせ先 道南陸上競技協会 TEL 0138-56-4477

- 1.3 表彰
- ・1位~3位までの入賞者は表彰する。表彰時にはメダルのみ授与し、賞状は後から係から受け取る。
 - ・4位~8位までの入賞者はエントランスホールにて賞状とメダルを係から受け取る。
 - ・5・6年の各学年男女1名に「優秀競技者賞」を授与する。(発表は当日。盾は後日、所属陸協に送付する)

- 1.4 その他※本大会は一般観客の入場は遠慮願います。競技場内に入場できるのは、出場選手・所属単位(学校・クラブチーム)の引率指導者(コーチ)3名以内、出場選手の保護者(1家庭2名以内)・競技役員のみとなります。

- (1)各地方陸協は必ず2名以上の審判員を派遣してください。氏名報告をお願いします(様式3)。
- (2)参加者は万一の事故に備えて、事前にスポーツ傷害保険に加入してください。本大会は応急処置の準備はありますが、それ以上は本人の負担で処理をお願いします。
- (3)プログラム・ナンバーカードは、8月14日(土) 13:00から16:00まで本競技場正面玄関付近で配布いたします。各陸協ごとに受付をお願いします。
なお、大会当日は7:30より主催陸協で一括して受付を行います。
- (4)本競技場は14日(土) 13:00から17:00まで開放します。【時間厳守】
ジャベリックボールは各自ご用意ください。そのほかの用器具等は各自責任を持って返却してください。
- (5)テント設置場所はプログラムを参照してください。大会前日の場所取りは一切できません。
- (6)大会当日の競技場開門時間は6:50です。
- (7)一般の駐車場は、公園内有料駐車場しかありません。
- (8)宿泊の斡旋は東武トップツアーズ函館支店が行います。希望者は(一財)北海道陸協のHPから申し込んでください。
- (9)弁当の購入を希望する場合は、別紙申込書にて申し込んでください。
- (10)ごみの処分は各自でお願いします。特に団体で申し込んだ弁当類につきましては団体ごとに処分してください。
- (12)本大会の開催要項等の情報は(一財)北海道陸上競技協会または道南陸上競技協会のホームページをご覧ください。
- (13)抗議については、監督が所属の普及委員長と共に行うものとします。

- 1.5 全国大会 全国大会(9月18日(土)・19日(日))の代表選考は以下のとおり。

※5/15付日本陸連の以下の文書に準ずる

- 1 コンバインドA、コンバインドBの参加人数をそれぞれ男女各1名に変更
- 2 男女混合4×100mリレーを中止

(1)5年生男女100m、6年生男女100m、コンバインドA・コンバインドB 男女 の各1名づつの合計8名が全国大会出場

(2)100mは5年生男女と6年生男女の優勝、コンバインドAとBはそれぞれの6年生男女の優勝者とする。

(3)全国大会に出場する選手は、全国大会出場者結団式(主催:(一財)北海道陸協)への参加を義務づける。※該当選手には、別途通知する。

- 1.6 感染症対策 本大会は(一財)北海道陸上競技協会普及委員会が別紙に定める内容に沿って運営します。出場選手・引率者・観客・競技役員は内容を熟読し、感染症拡大防止対策に最大限の努力を行ってください。

第39回北海道小学生陸上「新型コロナウイルス対策の具体的な留意点」について（お願い）

(一財)北海道陸上競技協会 普及委員会

新型コロナウイルス感染症が、完全なる終息がいまだ見通せない状況が続いております。その中で大会を開催するにあたって、感染拡大防止、選手・役員・観客等の安全安心のため、競技場内及び競技中の具体的な対応を下記に示します。

皆様にはご負担をおかけしますが、それぞれ責任を持ち対応していただくようご理解とご協力をお願いします。

具体的な留意点

I【選手・役員・引率者・観客（保護者）共通】

- ① JAAF【大会前/提出用】新型コロナウイルス感染症についてのチェックシートを記入していただきます。選手・観客（保護者）は記入したシートを引率者に提出してください。引率者は封筒等に入れ、チーム名を記入して受付に提出してください。役員は競技役員受付に提出してください。
- ② ア 体調がよくない場合（例：発熱37度以上・咳・咽頭痛などの症状がある場合）。
イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の監察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触者がある場合。
上記アイウに該当する場合は、参加・入場はできない
- ③ 受付や競技者係等にて疑わしい人に検温（非接触型体温計）を実施する。
- ④ マスクは選手・役員・引率者・観客（保護者）の全員が必ず着用すること。
- ⑤ トイレに石鹸（ポンプ型）を用意しています。なお、石鹸は絶対に持ち帰らないでください。
- ⑥ 飲み物、タオル等の他人との共用は避けること。（ハンカチ・タオル等各自持参）
- ⑦ 暑い中マスクをするので熱中症に注意して、こまめな水分の補給を行うこと。
- ⑧ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者（一財北海道陸上競技協会）に対して速やかに濃厚接触者の有無等について連絡すること。

II【選手】

- ① 大会参加は自己責任及び任意参加とする。児童は保護者の同意を得ることを条件とする。
- ② 選手はマスクをつけて選手招集所に集合すること。招集所では必ず手の消毒をすること。
- ③ 選手招集所での点呼の方法。
 - ・招集開始時刻になったらトラック選手は競技者係の机の上にある腰ビブスを選手自ら取り自ら付ける。（自分のレーンナンバーを間違わないように）
 - ・招集完了時間になったら招集所に集合点呼を受ける。競技者係が誘導する。
 - ・リレーについて、アンカーは間違わずにレーンナンバー（腰ビブス）を付ける。
- ④ マスクはトラック選手ではスタート準備への移動前まで、フィールド選手は試技開始（待機中含む）まで着用すること。
- ⑤ テントを張る場合は、テント内の風通しをよくし、密にならないよう工夫すること。
- ⑥ 競技場内では「つば」や「たん」を吐かないこと。また、走行中は極力行わないこと。
- ⑦ 密閉・密集・マイクロ飛沫リスク防止のため、近距離での会話や大声での発声を避ける。感染を防止するため、特に集団での声を出しての応援、握手・ハイタッチ等は禁止する。
- ⑧ 競技場では、審判員の指示に従う。感染防止から、スタート地点や試技場では、間隔を置き待機する。
- ⑨ 器具を触った手で顔（特に口や鼻や目）に触れず、競技終了後入念な手洗いをすること。

- ⑩ 食事前には手洗いをし、話しながら食べない。(黙食を励行)
- ⑪ 競技終了後、審判員の指示に従い速やかに退場すること。
- ⑫ 予選通過者・決勝進出者以外の掲示は原則行わない。プログラム表紙のQRコードで結果を確認する。

Ⅲ【競技役員】

- ① 感染状況により急に競技会の中止・延期等の措置をとる場合があるので予め道南陸協 HP で確認すること。または、道南陸協に電話で問い合わせる。
- ② 発熱・咳など軽い風邪症状がある、大会当日腋下体温37度を超える場合はご遠慮ください。欠席の場合は審判委員長又は事務局へご連絡ください。事務局 電話0138-56-4477
- ③ 競技場入りロビーに消毒液を用意しているので必ず消毒する。
- ④ 競技場では、マスク着用、手洗い(特に、用器具に触れた場合)、うがいを励行する。(選手も同様)
- ⑤ 各部署で使用する器具の消毒を行う。
- ⑥ 競技場所では、密集や近距離での会話や大声での発声を避ける。(選手も同様)
- ⑦ 選手に指示をするときは、ハンドマイク(交代時の消毒)を使用する。
- ⑧ 競技者係は選手にマスクの着用と、消毒液を設置するので消毒の徹底をはかる。
- ⑨ 出発係は、マスクをスタート準備への移動前まで着用させる。
- ⑩ フィールド審判員は、マスクを試技開始(待機中含む)まで着用させる。
- ⑪ 選手待機場所は、出来るだけスペースを広くとり、各組内及び各組毎の間隔をとり、選手確認をする。
- ⑫ その他は、大会当日のプログラム選手注意事項や審判打ち合わせ時の内容を踏まえる。また、大会総務・審判長・主任と協議しながら臨機応変に対応しながら大会運営をする。

Ⅳ【観客(保護者:1家族2名以内)・引率者(各団体3名以内)】

- ① 引率者は事前に、「新型コロナウイルス対策の具体的な留意点について」を選手に指導すること。また、引率者は保護者にも内容を伝えること。
- ② スタンド、芝生席では、マスク着用、手すりなどを触った場合の手洗いの励行。メインスタンドでは椅子を最低一つ以上開けて座ること(選手も同様)。マイクロ飛沫感染防止のため近距離での会話や大声での発声を避けること。応援は拍手で!!
- ③ 新型コロナウイルス感染症の状況により、競技会が中止・延期等になる場合があるので、道南陸上競技協会ホームページで確認をすること。また、その他、急を要する事案が生じた場合は、同じく道南陸上競技協会ホームページに掲載するので確認すること。
- ④ 引率者の各位にはご負担をおかけいたしますが、保護者の皆様に関係する部分をしっかりお伝えしていただくよう重ねてお願い申し上げます。